

(1) 《これからの創造のためのプラットフォーム》ウェブサイトの継続

<https://www.sozoplatform.org>

2014年度に開始したプロジェクト《これからの創造のためのプラットフォーム》では、アート、デザイン、思想、暮らし等の様々な領域の実践者の知見に触れながら現代社会の課題を考察し、思考の可動域を広げ、これからの時代の「創造」を探る。2023年度も引き続きアーカイブをウェブ上で発信している。(以下のイメージはウェブトップ画面)

**これからの  
創造のための  
プラットフォーム**

		
<b>からだの錯覚</b> 小鷹研理	<b>狩猟採集民と動物とアート</b> 山口未花子	<b>Talk with Vincent Moon</b> ヴィンセント・ムーン
		
<b>人・音・織・機</b> 末松グニエ文 伊藤 悟	<b>フィールドの音を録る</b> 柳沢英輔	<b>映像人類学講義I, II</b> 川瀬 慈

## (2) 《OKINAWA NOISE MAP》ウェブサイトの継続

<https://www.okinawa.noisemap.jp>

2012年から沖縄の米軍基地周辺の騒音を立体音響として録音し、日本の沖縄県以外の場所で再生する活動を継続してきた。2016年にこれまで収集された基地騒音を地図上にマッピングし、ウェブ上で公開するプロジェクト《Okinawa Noise Map》を開始し、現在も継続している。（協力：IAMAS OB 松野峻也、具志堅裕介）



OKINAWA NOISE MAP の画面

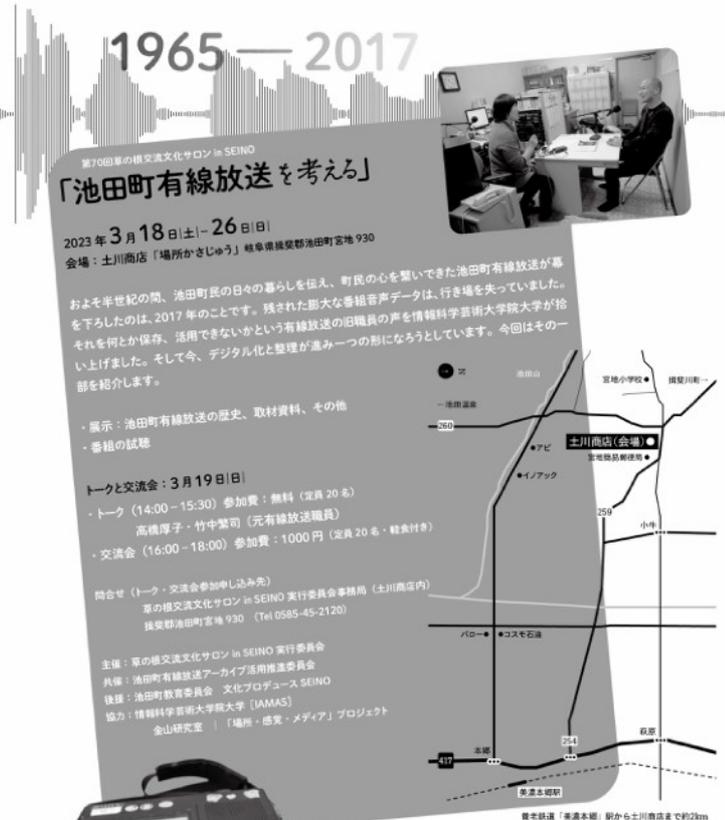


Googleストリートビュー重ねられた騒音の再生画面

(3) 「池田町有線放送を考える」に参加し、展示をおこなった



フライヤー作成、展示風景・写真撮影：IAMAS教員 瀬川晃



**池田町有線放送とは**  
池田町有線放送電話農業協同組合（精華県播磨郡）が1964年に設立した固定電話兼放送設備です。朝6時から夜9時半まで多いときには10数回、町の情報、文化、娯楽など様々な自主番組が制作され、家庭や職場で聴かれました。2017年まで開局以来52年間365日休みな放送されました。

2022年度中に行われたプロジェクトのミーティングに参加し、2023年3月に行われる展示において、ラジオ番組のアーカイブに残された人々の声をもとに、サウンド・インスタレーションを制作・展示した。

「場所・感覚・メディア」プロジェクトに参加する有志学生とともに展示のあり方・方向性を検討した。



展示風景1



展示風景2

#### (4) 沖縄やんばる地方でのフィールドレコーディングと編集・アーカイブ作業の継続

2019年以降、沖縄北部ヤンバル地方で自然環境の録音、フィールドレコーディングを継続している。2021年には、この録音をもとに歌手の松田美緒、人類学者・詩人の川瀬慈とのライブイベントで共演した。そして2022年9月、2023年3月、6月もフィールドレコーディング、編集とアーカイブ作業を継続している。2022年以降、やんばる学びの森スタッフの協力を得て、適切な録音場所や録音された生物の音声についてアドバイスをいただいている。



#### (5) 岐阜県美術館2024年度企画展への準備

2024年に開催予定される企画展に向けて、学芸員と数回ミーティングを行い、企画展主旨の説明と継続中のやんばる地方でのフィールドレコーディングとの関連、今後の展開について話し合いをおこなった。

#### (6) 岐阜県各務原市周辺の戦後の状況についてのインタビュー実施

2017年に開催された「場所をつくる旅」展からの展開として、1950年以降の岐阜県各務原市米軍基地周辺での体験・記憶についてインタビューをおこない、継続している。